

UNIT 26 仮定法(1)

《解答》

- (711) 5 (712) 4 (713) 3 (714) 3 (715) 3
 (716) 4 (717) 3 (718) 1 (719) 3 (720) 4
 (721) 1 (722) have, caught
 (723) had, explained, would, have, been
 (724) would, be (725) Had, spoken
 (726) 361,245(in would be, if it were)
 (727) 45631(Had the French settled America rather than)
 (728) ①(wereに直す) (729) ④

《問題文の和訳と解説》

(711) もしジェーンの電話番号を知っていたら、彼女に電話できるのですが。

- ① 電話番号を知らなかったの、ジェーンに電話できなかった。 ② ジェーンの電話番号を知っていたので、彼女に電話できた。 ③ たとえ電話番号を知らなくても、ジェーンに電話したい。 ④ ジェーンに電話しようと思えばできるのだが、そうしたくない。 ⑤ ジェーンの電話番号を知らないの、彼女に電話できない。

問題文は、ifを使い主節で助動詞の過去(could)を使っているの、仮定法過去(if節が過去、主節は助動詞の過去+動詞の原形。仮定法の主節で使う助動詞はwould、should、could、might)。仮定法過去は現在の事実と反することを言うので、直説法に書き換えると現在形になり、内容は主節も従節も肯定なので、実際は否定の文「(現在)ジェーンの電話番号を知らないの、私は彼女に電話することができない」となるので⑤が正解。

(712) 彼が自分の過失を認めなかったの、私は彼を許さなかった。

- ① 今彼が自分の過失を認めれば、今彼を許すのだが。 ② 今彼が自分の過失を認めれば、あのおとき彼を許したのだが。 ③ あのおとき彼が自分の過失を認めれば、今彼を許すのだが。 ④ あのおとき彼が自分の過失を認めれば、あのおとき彼を許したのだが。

直説法を仮定法に変える問題。直説法で過去の文は仮定法では仮定法過去完了(if節が過去完了、主節は助動詞の過去+have+過去分詞)になる。④が正解。「彼が過失を認めなかったの、私は彼を許さなかった。」→「もし彼が過失を認めていたら、彼を許したのに。」

(713) 水がなければ、どの生物も生きられない。

- ① もしそれが水のためだったら、全ての生物は生きることが出来る。 ② 水がなければ、全ての生物が生きられるとは限らない(全ての生物は生きられない...この和訳は「水がない」可能性が多分にあることを含意するので元文と内容的に異なる) ③ 水のおかげで全ての生物は生きられる。 ④ 和訳不能 ⑤ 全ての生物は生きられなかった、というのも水がなかったからである。

問題文はif節が過去、主節で助動詞の過去を使っているの、仮定法過去の文。直説法に書き換えれば現在形になり、「水のおかげで、全ての生き物は存在することができる。」となるので③が正解。if it were not for A「もしAが無かったら」(=but for A, without A)。thanks to A「Aのおかげで」(=owing to A, on account of A, because of A)。

(714) もし私が君だったら、あんなことはしないだろう。

主節の動詞が助動詞の過去形+V原形であることから仮定法過去の文だと分かるので、if節の動詞は過去形にする。③が正解。

(715) もう一台タイプライターを持っていれば、これを彼女にあげられるのだが。

if節にnowとあることと、主節の動詞が助動詞の過去形+V原形であることから仮定法過去の文だと分かるので、if節の動詞は過去形にする。③が正解。

(716) 彼を知っていたら、彼に話しかけたのだが。

④if節の動詞が過去完了(had 過去分詞)であることから仮定法過去完了の文だと分かるので、主節の動詞は助動詞の過去形 have 過去分詞にする。④が正解。

(717) あのとき彼が私の忠告を受け入れていたら、彼は今では金持ちになっているだろうに。

問題文の前半はthenがあるので過去、主節はnowがあるので現在のこと。したがってif節は仮定法過去完了、主節は仮定法過去という混合形であると判断する。仮定法過去の主節の動詞は助動詞の過去形+V原形なので、③が正解。仮定法混合形 = If S' had 過去分詞, S 過去形「もし(あの時)～だったら、(今頃)…だろう」。

(718) 借金がなければ、私たちは万事順調なのだが。

were it not for Aはif it were not for Aの倒置形で、「もしAが無かったら」という仮定法過去の表現。①が正解。このようにif 節でwere, should, had+過去分詞を使った表現では、if を省略して主語の前にwere, should, hadを倒置した文にすることが出来る。

(719) あのとき君が来なかったら、私はどうしてよいか分からなかっただろう。

主節の動詞が助動詞の過去形+have+過去分詞であることから仮定法過去完了の文と判断する。If you had not come at that timeを倒置した文で、③が正解。また、not+動詞の前にはYou did not come. You don't come.のように助動詞が必要。①Unless, ②Butの後に、主語 you+助動詞なしでnot comeとは続かないので、いずれも不可。

(720) もう一度機会を与えられれば、彼は最善を尽くすだろう。

If he should be given another chance,という文を、Ifを省略し、Sと助動詞を倒置し、Should he be given another chanceとした文で④が正解。If S should V = Should S V「もし万が一～ならば」。If S should Vは起こりそうもない未来を表す表現。

(721) 深刻な危機が起これば、政府は迅速に行動しなければならないだろう。

If a serious crisis were to arise, という文を、Ifを省略し、Sとwereを倒置したもので、①が正解。If S were to V = Were S to V「もし万が一～するとしたら」。この表現は、if節でshouldを使った場合と大体同じで起こりえない未来を表す表現。但し、if節でwere toを使う場合は、主節で助動詞の過去を使うのに対し、if節でshouldを使う場合は、主節で助動詞の過去を使うことも使わないこともあることに注意。

○If a serious crisis were to arise, the government would have to act swiftly.

×If a serious crisis were to arise, the government will have to act swiftly.

○If a serious crisis should arise, the government would have to act swiftly.

○If a serious crisis should arise, the government will have to act swiftly.

○If a serious crisis should arise, please act swiftly.

(722) 駅への道が混んでいなければ、ジョンは列車に乗らせていただろうに。

正解はhave caught。上の文が直説法の過去時制なので、下のように仮定法にする場合は、仮定法過去完了になり、「乗らせていただろう」という主節の動詞部分はwould have caught とする。

(723) 私に君の問題を説明してくれたら、君を助けることができたのに。

正解はhad explained, would have been。上の文が直説法の過去時制なので、下のように仮定法にする場合は、仮定法過去完了になり「説明してくれていたら」というif節の動詞部分はhad explained、「助けることができただろう」という主節の動詞部分はwould have been able to help youとする。be ableが可能の意味を表すので助動詞をcould have been ~とすることはできない。

(724) 夜大雨が降らなかつたら、道はぬかるんではないだろう。

正解はwould, be。上の文は1つ目が過去形、2つ目が現在形なので、仮定法の下の方はif節が仮定法過去完了、主節が仮定法過去の仮定法混合形の文。空欄部分は仮定法過去の部分なので、would not be muddyとする。

(725) 彼が教師だと知っていたら彼の前で教師の悪口を言わなかつたらうに。

正解はHad, spoken。上の文は直説法で過去時制なので、下のように仮定法にする場合は、仮定法過去完了になる。文頭の空欄はIf I had known …の省略・倒置形であるHad I known …となる。主節の部分も仮定法過去完了なのでI should not have spoken とする。

(726) 訳文はテキスト参照。

正解はin would be, if it were。内容的に前半が主節。現在の内容の仮定なので仮定法過去を使う。to live inがtimeを修飾しており、繰り返しになるのでinの後にはtimeが省略されている。time「時・時代」が「世界」の隠喩で用いられている。

(727) 訳文はテキスト参照。

正解はHad the French settled America rather than。前半が過去、主節が現在の内容なので、仮定法過去完了と仮定法過去の混合形の文。前半は、If the French had settled America …という文が省略・倒置された文。

(728) 君がクラブの会長なら、誰を社会委員会の議長に選びますか。

主節の動詞が助動詞の過去形＋V原形なので仮定法過去の文。if節の動詞は動詞の過去形でなければいけないので①areをwereに替える必要がある。④のchairmanは可算名詞の単数形だが、組織内で一人しかいない役職名などの名詞が補語の場合は無冠詞というルールがあるので、冠詞なしで正しい。appointに対してwhomが目的語、chairmanが補語。前半のpresidentが無冠詞であるのも同じ理由。

(729) 君がその問題の解決法を教えてくれなかつたら、今の私はないでしょう。

if節が過去、主節が現在の内容なので、仮定法過去完了と仮定法過去の混合文。③のwhat I amの部分は「現在の私」という意味で事実を表しているので仮定法ではなく、現在形で正しい。正解は④NO ERROR。